

ステージ (求められる姿) 視 点		第0ステージ	第Ⅰステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ
		新規採用時	基礎形成期 Ⅰ～3年目	向上期 4～10年目	充実期 Ⅰ1年目～Ⅰ5年	発展期 Ⅰ6年目以降
		新規採用職員として、教育・保育に関する基礎的な事項を理解している	組織の一員として教育・保育を展開し、実践力を磨く	プレミドルリーダーとして、組織運営に参画したり教育・保育の専門性を高めたりする	ミドルリーダーとして組織運営を推進したり、教育・保育の高度な実践を展開したりする	組織のリーダーとして、園運営に積極的に参画したり、人材育成を推進したりする
(Ⅰ) 保育者に必要な 素養	A 法令遵守・人権尊重の精神	法令遵守の精神を身に付けている人権意識、人権感覚を身に付けている	法令遵守の精神を踏まえ、自ら範を示すとともに、幼児理解に基づき教育・保育を行うことができる人権尊重に基づいた子ども理解の上で教育・保育を行う	法令遵守及び人権尊重の精神を職員に指導することができる		
	B 対人関係能力 社会性	他者とコミュニケーションを図りながら、自らの課題解決に努めている	自分や学級の子どもの課題を認識し、管理職・同僚に相談しながら解決に向けて行動することができる	園で生じている課題を把握し、管理職・同僚に相談しながら解決に向けて行動することができる	園全体に関わる課題を把握し、職員の意見を取りまとめ、実効策を示すことができる	園内外の課題を把握し、その課題解決に向けて、職員に指導助言をし、改善に努めることができる
	C 子どもへの愛情、質の高い教育・保育を行う保育者としての使命感	保育者としての使命を理解し、子どもへの愛情をもっている	質の高い教育・保育を行う保育者としての自覚のもと、子どもへの愛情と学び続ける意欲をもち、組織の一員として行動することができる	質の高い教育・保育を行う保育者としての自覚のもと、子どもへの愛情と学び続ける意欲をもち、組織を牽引する働きができる	質の高い教育・保育を行う保育者としての自覚のもと、子どもへの愛情と学び続ける意欲をもち、組織の意識と行動力を高めることができる	
	D 長崎県への郷土愛	ふるさとの特色（地理、歴史、文化等）を理解し、愛着をもっている	地域の特色を理解し、そのよさを子どもに伝えるときともに、地域のもの、こと、ひとを教育・保育活動に積極的に取り入れようとする事ができる		地域の特色を理解し、地域人材や施設等の情報を把握し、教育・保育活動に積極的に取り入れたり、地域力を生かす教育・保育活動について職員に指導助言したりすることができる	
(Ⅱ) 園運営 連携・協働	E 組織運営力 同僚性・協働性	担任の基本的な役割と職務内容、園組織や園務分掌等について理解している	園の教育及び保育の理念を理解し、同僚性や協働性を発揮しながら、教育・保育を展開することができる	園の教育及び保育の理念を理解し、同僚性や協働性を発揮しながら、積極的に教育・保育を展開することができる	組織運営において、同僚性や協働性を醸成するとともに、その実践を評価し、改善につなげることができる	組織運営において、同僚性や協働性を醸成するとともに、その実践を評価して改善につなげたり職員に指導助言したりすることができる
	F 保護者・地域・関係機関等との連携力	保護者、地域、関係機関等との連携の必要性及び協働の仕方、子育ての支援について理解している	保護者、地域、関係機関等と積極的に関わり、連携・協働した対応をすることができ、子育ての支援に努める		保護者、地域、関係機関等との連携・共同のネットワークの確立ができ、子育ての支援における円の体制構築に努める	
	G 危機管理能力	危機管理を含む園における安全の目的と具体的な取組を理解している	安全に配慮した保育室環境等の整備と、危機を察知した際の迅速な連絡ができる	危機を予測した未然防止の取組と、危機を察知した際の迅速な連絡ができる	危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見、早期対応の取組を行うことができる	危機の未然防止のための組織的対応、園環境の抜本的改善及び危機の再発防止の取組を推進することができる
(Ⅲ) 指導計画 教育・保育実践	H 教育・保育に関する知識	教育・保育に関する基礎的知識を身に付けている	教育・保育に関する知識を高め、保育実践に生かすことができる	教育・保育に関する専門的知識を身に付け、保育実践に生かすことができる	教育・保育に関する専門性を高め続けるとともに、園内の保育の課題について職員に指導助言をすることができる	
	I 教育・保育の構想力	要領・指針の内容やカリキュラムマネジメントの考え方を理解するとともに、場面に応じた保育形態や教育・保育の方法を身に付けている	カリキュラムマネジメントの考え方を理解し、地域の人材等を活用するなどして、要領・指針及び子どもの実態に基づいて指導計画を作成し、教育・保育を行うことができる	カリキュラムマネジメントの考え方を生かし、地域の人材等を活用するなどして、要領・指針及び子どもの実態に基づいて指導計画を作成し、主体性を育む教育・保育を行うことができる	要領・指針及び子どもの実態に基づき、地域との連携・協働を図り、小学校教育との接続等、長期的視野をもって指導計画を立案し、実施することができる	要領・指針及び自園や地域の特色を生かし、保育形態や教育・保育の方法、カリキュラムを見直し、改善を図ることができる
	J 教育・保育の展開力	教育・保育の展開に必要な基礎的スキルを理解するとともに、適切な環境を構成する能力を身に付けている	子どもの実態を踏まえ、基礎的なスキルを向上させるとともに、豊かな体験をつくり出す環境の構成や子どもへの関わりができる	子どもの特性を理解し、新たな知見や獲得したスキルを生かして、豊かな体験をつくり出す環境の構成や子どもへの関わりができる	子どもの特性を理解し、新たな知見や獲得したスキルを生かして、豊かな体験をつくり出す環境の構成や子どもへの関わりができるとともに、職員に指導助言することができる	園の課題解決を図るための教育・保育の展開を工夫し、改善に向けて職員に指導助言することができる
(Ⅳ) 子ども理解・ クラス経営	K 個別の子どもへの対応力	子どもの状況を把握するための基礎的な事項や園内外の連携も含めた対応の在り方を理解している	個々の子どもの声や思いを受け止めて状況を理解し、先輩職員からの助言を受けながら、状況に応じた適切な指導や支援をすることができる	個々の子どもの声や思いを受け止めて状況を理解し、同僚と協力しながら、状況に応じた適切な指導や支援をすることができる	個々の子どもの声や思いを受け止めて状況に応じて適切な指導や支援をするとともに、保護者や他機関と連携し、支援体制を構築することができる	指導や支援が必要な子どもへの対応方針を立て、保護者や他機関と連携を図りながら、支援体制を強化することができる
	L 保護者支援	保護者支援の意義や理論、必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事項を含む）を理解している	保護者支援の基礎的なスキルを身に付けるとともに、保護者に寄り添い、信頼関係を築くことができる	保護者支援や日常の観察を通して、子どもの気持ちや行動の背景を理解することができ、子育てに関する知識や技術などの専門性を生かし、保護者が子どもの成長に気付き、子育ての喜びを感じられるように支援することができる	望ましい保護者支援の在り方について、職員に指導助言をし、園全体の体制構築に努めることができる	
	M 集団作り (発達段階に応じて)	子どもの発達段階に応じた集団の在り方を理解している	子ども一人一人の実態や集団（クラス・グループ等）の課題を捉え、個々の自立を促し、発達段階に応じた集団づくりを目指すことができる	園全体の子どもの実態を把握し、より望ましい集団づくりを組織的に進めることができる	園全体の子どもの実態を把握するとともに、課題に応じた対応策を提案し、実践することができる	
	N 子どもの将来を育む力	幼児教育や幼小接続の意義を理解し、生涯にわたる人格形成の基礎を培おうとする意欲をもっている	幼児教育の重要性や幼小接続の見通しをもって、主体性を育む教育・保育及び豊かな体験を仕組むことができる	幼児教育の重要性や幼小接続の見通しをもって、主体性を育む教育・保育及び豊かな体験を深化させることができる	園全体における質の高い教育・保育や幼小接続を推進し、主体性を育む教育・保育及び豊かな体験を企画、実践することができる	園全体における質の高い教育・保育や幼小接続を推進し、その意義や方法、評価の在り方等を職員に浸透させることができる
(Ⅴ) 特別支援教育	O 特別な配慮を必要とする子どもへの保育力	特別支援教育の意義や発達障害等について基礎的な事項を理解している	発達障害等の障害特性や対応方法について理解し、個々の障害に対する適切な対応を行うことができる	個々の障害に応じて適切に対応するとともに、特別支援教育の理念や意義を全体の教育・保育に反映させることができる	保護者や関係機関等と連携し、個別の対応を充実させたり、園の特別支援教育体制を構築したりすることができる	個別の対応について職員に指導助言したり、中核となって特別支援教育体制を強化したりすることができる
(Ⅵ) ICTの利活用	P 園務や保育にICTを利活用する力	教育・保育及び園務におけるICT利活用の目的やその方法と効果について理解している	教育・保育及び園務におけるICTの適切な利活用ができる	教育・保育及び園務におけるICTの適切な利活用ができ、園務全体の効率化と教育・保育の質の改善につなげることができる	教育・保育及び園務におけるICTの効果的な利活用ができ、園務全体の効率化と教育・保育の質の改善につなげることができる	教育・保育及び園務におけるICTの効果的な利活用ができ、組織全体で園務の情報化を推進することができる

※注釈Ⅰ 「子ども」とは、乳幼児を指す。 ※注釈Ⅱ 「園」とは、全ての幼児教育・保育施設を指す。 ※注釈Ⅲ 「要領・指針」とは、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び保育所保育指針を指す。